

## 発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 倉中 伸



今年も前年度の協会活動についてのご報告と、貸金業界関係資料及び公知情報などをお届けいたします。

今年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行し、行動制限などの感染防止対策が解除されました。これにより我が国は正常な社会経済活動へ戻りつつありますが、国際紛争などにより依然として景気の先行きには不透明感があります。

また、昨年4月に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。貸金業界関連では現状懸念すべき問題事象は生じておりませんが、引き続き慎重な対応が求められております。その一方で、近年、若者を中心に副業・アルバイト詐欺、投資詐欺などによる金融被害が増加しており、中には貸金業者から借り入れたお金を窃取される事案も見られます。

このような状況を踏まえ、本協会は、消費者保護の取組みを効果的かつ強力に推進するために、消費者向貸付大手4社と協働し、金融リテラシー向上のためのコンソーシアムを設立しました。今後学校等を対象とした出前講座の積極的な実施、SNS等の媒体による啓蒙・啓発活動などにより、こうした消費者被害防止を主とした金融経済教育にしっかりと取り組んでまいります。

このように様々な変化の中にある貸金業界ですが、本協会としましては、貸金業者が健全な資金を供給することにより国民経済の発展に貢献し、更に社会から信頼される業界となるよう引き続き役割を果たしてまいります。

みなさまにおかれましては、本報告書をご高覧いただき、協会活動や貸金業界に対するご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。